



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社
コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 仲尾 功一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 松崎 修一郎

TEL 077-543-7212

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,971	6.8	625	37.6	701	42.0	404	77.6
26年3月期第2四半期	10,277	14.0	454	7.3	493	8.8	227	△27.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △338百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1,939百万円 (300.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.36	—
26年3月期第2四半期	1.98	1.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	63,567	56,686	89.1	470.36
26年3月期	62,500	57,127	91.3	473.93

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 56,639百万円 26年3月期 57,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	1.20	1.20
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.20	1.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	5.4	2,000	2.4	2,380	6.2	1,480	0.7	12.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(注)特定子会社の異動には該当いたしません、Takara Bio Europe ABを当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。
 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	120,415,600 株	26年3月期	120,415,600 株
27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
27年3月期2Q	120,415,600 株	26年3月期2Q	114,862,157 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおり、今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

平成27年3月期の個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	15,393	△1.4	△520	-	1,141	△28.3	1,048	△20.3	8	71

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

なお、平成26年5月8日に公表した通期業績予想を修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(その他の注記)	11
4. 補足情報	12
(1) 経営管理上重要な指標の推移	12
(2) 連結比較損益計算書	13
(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動の影響がありましたものの、景気は穏やかな回復が見られました。しかしながら、貿易赤字が上半期としては過去最大を記録するなど、景気の先行きは依然として不透明感が残る状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、長年培われたバイオテクノロジーを活用し、バイオ産業支援事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

その結果、売上高は、主力の研究用試薬が円安の影響も加わり、前年同期を大きく上回ることで10,971百万円(前年同期比106.8%)となりました。売上高増加にともない売上総利益は、6,054百万円(前年同期比108.1%)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により5,429百万円(前年同期比105.4%)と増加いたしましたものの、営業利益は、625百万円(前年同期比137.6%)と増益となりました。

営業外損益では、前期の為替差益が当期は為替差損に転じましたが、受取利息の増加や前期に発生した公募増資の実施等による株式交付費がなくなったことにより収支が改善いたしましたので、経常利益も701百万円(前年同期比142.0%)と増益となりました。

特別損益では、固定資産除売却損が減少いたしましたので、税金等調整前四半期純利益は、684百万円(前年同期比146.5%)となり、四半期純利益も404百万円(前年同期比177.6%)と増益となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

なお、当社は、平成26年4月1日付で、技術力の有効利用および収益力の向上をはかるため、組織改正を行いました。これにより、遺伝子工学研究事業部門をバイオ産業支援事業部門に改称し、遺伝子医療事業部門の細胞・遺伝子治療センターが分掌していた研究開発・製造・受託機能を統合いたしました。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第2四半期連結累計期間の品目別売上高の状況については、主力の研究用試薬は、円安の影響もあり大きく増加いたしました。また、理化学機器は減少いたしました。また、研究受託サービスは前年同期並みとなりました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は9,942百万円(前年同期比106.4%)と増収となり、売上総利益も5,956百万円(前年同期比108.7%)と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、販売促進費が減少いたしましたものの人件費、減価償却費等の増加により3,912百万円(前年同期比109.1%)と増加いたしました。営業利益は2,044百万円(前年同期比107.9%)と前年同期を上回りました。

[遺伝子医療]

当事業では、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法およびRNA分解酵素等の自社技術を利用した、がんとエイズの遺伝子治療の早期商業化にも注力しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上の実績がなく、販売費及び一般管理費は、435百万円(前年同期比100.5%)とわずかに増加いたしましたので、営業損失は435百万円(前年同期営業損失433百万円)となりました。

[医食品バイオ]

当事業では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して日本人が古来常食してきた食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、明日葉カルコン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、健康食品の売上高が前年同期比で増加いたしましたので、外部顧客に対する売上高は1,029百万円(前年同期比110.2%)と増収となりましたが、キノコの売価が下落したこと等が影響し、売上総利益は98百万円(前年同期比80.4%)と減少いたしました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費が減少いたしましたものの研究開発費や販売促進費等が増加したことにより322百万円(前年同期比103.5%)と増加いたしましたので、営業損失は223百万円(前年同期営業損失188百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は63,567百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,067百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加2,283百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,880百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,508百万円増加いたしました。これは主に、流動負債の「その他」に含まれる有形固定資産未払金の増加1,519百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は56,686百万円となり、前連結会計年度末に比べて440百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の減少729百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,423百万円の収入となり、前年同期に比べて172百万円の収入増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加217百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,940百万円の支出となり、前年同期に比べて7,388百万円の支出減少となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の減少9,875百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、156百万円の支出となり、前年同期の収入から転じ、11,417百万円の減少となりました。これは主に、前期に発生した株式の発行による収入11,403百万円がなくなったことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、5,577百万円となり、前連結会計年度末より853百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては、研究用試薬と健康食品が計画を上回る見込であります。理化学機器とキノコ関連製品が計画未達となる見込であることから、全体では期初予想を修正しないこととします。

利益面につきましては、原価率の改善により売上総利益が計画を上回る一方で、償却費、管理費等の販売費及び一般管理費が計画を上回る見込となるため、営業利益は、期初予想を据え置いております。

経常利益は、受取利息が計画を上回るほか、計画外の研究補助金収入も発生する予定であることから、期初予想から増加する見込であります。

当期純利益は、法人税等が経常利益増益額とほぼ同額増加する見込であるため、期初予想を据え置いております。

以上のことから、平成26年5月8日に公表した連結業績予想について、経常利益のみ上方修正いたします。なお、修正した連結業績予想と前期実績および期初予想との比較は、14ページ「連結業績予想に関する比較損益計算書」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結会計期間において、Collectis AB（スウェーデン）の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。なお、Collectis ABは、平成26年9月1日付でTakara Bio Europe ABに社名変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更にもなう影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産が79百万円、退職給付に係る負債が14百万円、利益剰余金が42百万円、それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産(リース資産を除く)のうち、四日市事業所(旧ドラゴンジェノミクスセンター)所在の有形固定資産以外について、減価償却の方法に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、会社設立から12年が経過し、また、当連結会計年度より遺伝子・細胞プロセッシングセンター等が稼働することから、研究開発活動および生産活動において有形固定資産の安定的な使用が見込まれる状況になったことを受け、償却方法を再検討した結果、定率法から定額法に変更することが合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が、それぞれ97百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,302	19,134
受取手形及び売掛金	6,271	4,726
有価証券	8,631	9,977
商品及び製品	3,309	3,728
仕掛品	203	304
原材料及び貯蔵品	908	817
その他	1,227	1,774
貸倒引当金	△37	△38
流動資産合計	41,817	40,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,148	11,270
減価償却累計額	△5,285	△5,384
建物及び構築物(純額)	3,863	5,886
機械装置及び運搬具	5,936	7,089
減価償却累計額	△4,414	△4,421
機械装置及び運搬具(純額)	1,522	2,668
工具、器具及び備品	4,751	5,338
減価償却累計額	△3,311	△3,507
工具、器具及び備品(純額)	1,440	1,831
土地	7,673	7,691
リース資産	40	39
減価償却累計額	△26	△28
リース資産(純額)	14	10
建設仮勘定	2,447	1,155
有形固定資産合計	16,960	19,244
無形固定資産		
のれん	1,477	1,567
その他	1,109	1,070
無形固定資産合計	2,587	2,637
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,169	1,296
貸倒引当金	△34	△35
投資その他の資産合計	1,135	1,260
固定資産合計	20,682	23,142
資産合計	62,500	63,567

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,551	1,684
短期借入金	136	137
未払法人税等	243	224
引当金	197	325
その他	2,244	3,489
流動負債合計	4,372	5,861
固定負債		
長期借入金	225	211
退職給付に係る負債	294	325
その他	479	483
固定負債合計	1,000	1,019
負債合計	5,372	6,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	7,280	7,582
株主資本合計	55,139	55,442
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,926	1,196
退職給付に係る調整累計額	2	0
その他の包括利益累計額合計	1,928	1,197
少数株主持分	58	47
純資産合計	57,127	56,686
負債純資産合計	62,500	63,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,277	10,971
売上原価	4,673	4,916
売上総利益	5,603	6,054
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,122	1,254
退職給付費用	26	39
研究開発費	1,407	1,402
引当金繰入額	131	161
その他	2,461	2,571
販売費及び一般管理費合計	5,148	5,429
営業利益	454	625
営業外収益		
受取利息	52	68
為替差益	34	—
不動産賃貸料	19	20
その他	6	15
営業外収益合計	113	104
営業外費用		
支払利息	3	5
為替差損	—	13
株式交付費	62	—
不動産賃貸費用	6	6
その他	2	3
営業外費用合計	74	29
経常利益	493	701
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	26	16
特別損失合計	26	16
税金等調整前四半期純利益	467	684
法人税、住民税及び事業税	402	558
法人税等調整額	△157	△267
法人税等合計	244	290
少数株主損益調整前四半期純利益	222	393
少数株主損失(△)	△5	△10
四半期純利益	227	404

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222	393
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,717	△730
退職給付に係る調整額	—	△1
その他の包括利益合計	1,717	△732
四半期包括利益	1,939	△338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,945	△327
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	467	684
減価償却費	552	592
その他の償却額	94	85
のれん償却額	66	61
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	3
その他の引当金の増減額 (△は減少)	111	130
受取利息	△52	△68
支払利息	3	5
固定資産除売却損益 (△は益)	26	16
売上債権の増減額 (△は増加)	1,425	1,488
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△562	△539
仕入債務の増減額 (△は減少)	△189	124
その他	△338	△719
小計	1,595	1,882
利息及び配当金の受取額	62	83
利息の支払額	△1	△4
法人税等の支払額	△405	△539
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,250	1,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,152	△8,277
定期預金の払戻による収入	10,715	10,128
有価証券の取得による支出	△574	△2,614
有価証券の売却による収入	574	614
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,981	△1,522
その他償却資産の取得による支出	△36	△126
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△142
その他	126	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,328	△1,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△0	1
長期借入金の返済による支出	△24	△14
株式の発行による収入	11,403	—
配当金の支払額	△123	△142
少数株主からの払込みによる収入	17	—
リース債務の返済による支出	△10	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,261	△156
現金及び現金同等物に係る換算差額	537	△179
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,720	△853
現金及び現金同等物の期首残高	6,538	6,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,258	5,577

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	9,343	—	933	10,277	—	10,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,343	—	933	10,277	—	10,277
セグメント利益又は損失(△)	1,893	△433	△188	1,271	△816	454

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△816百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	9,942	—	1,029	10,971	—	10,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,942	—	1,029	10,971	—	10,971
セグメント利益又は損失(△)	2,044	△435	△223	1,384	△759	625

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△759百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイオ産業支援」セグメントにおいて、Collectis AB(スウェーデン)の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、207百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当社は、平成26年4月1日付で、技術力の有効利用および収益力の向上をはかるため、組織改正を行いました。これにより、遺伝子工学研究事業部門をバイオ産業支援事業部門に改称し、遺伝子医療事業部門の細胞・遺伝子治療センターが分掌していた研究開発・製造・受託機能を統合いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法は、四日市事業所(旧ドラゴンジェノミクスセンター)所在の有形固定資産を除き定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、バイオ産業支援事業部門で88百万円、遺伝子医療事業部門で0百万円、医食品バイオ事業部門で7百万円、調整額で1百万円、それぞれ増加しております。

(その他の注記)

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

研究開発費の内訳	
研究開発費の総額	1,402百万円
このうち主なものは、次のとおりであります。	
従業員給料及び賞与	436
退職給付費用	13
引当金繰入額	71

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	(平成26年9月30日現在)
現金及び預金勘定	19,134百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△13,926
取得日から3か月以内に償還期限が到来する短期投資(有価証券)	370
現金及び現金同等物	5,577

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称	Collectis AB
事業の内容	幹細胞関連製品の製造および販売

(2) 企業結合を行った主な理由

Collectis ABが有するiPS細胞などの幹細胞を肝臓細胞や膵臓細胞などへ分化させる分化誘導技術を獲得することで当社の技術力を強化し、また、同社が有するES細胞、iPS細胞、分化細胞などの幹細胞関連製品を獲得することでバイオ産業支援分野の製品ラインナップを拡充し業績拡大を目指すため、同社を子会社化することといたしました。

(3) 企業結合日

平成26年8月29日(株式取得日)
平成26年9月30日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合日時点ではCollectis ABでありましたが、平成26年9月1日付でTakara Bio Europe ABに社名変更いたしました。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価としてCollectis ABの全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成26年9月30日を「みなし取得日」としているため、四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間はありません。

3. 被取得企業の取得原価およびその内訳

取得の対価	現金	141百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	103
取得原価		244

ただし、取得原価が未確定であるため、暫定的な金額であります。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

(1) 発生したのれん

207百万円

なお、発生したのれんは、取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法および償却期間

8年間にわたる均等償却

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

回次	第12期 第2四半期連結累計期間	第13期 第2四半期連結累計期間	第12期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,250	1,423	2,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,328	△1,940	△14,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,261	△156	11,281

② 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
5,052	1,861	1,908	594	757	102	10,277

当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
4,842	2,014	2,387	635	942	147	10,971

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位：百万円)

回次	第12期 第2四半期連結累計期間	第13期 第2四半期連結累計期間	第12期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
バイオ産業支援	800	843	1,674
遺伝子医療	400	432	914
医食品バイオ	67	77	151
全社共通	138	49	285
合計	1,407	1,402	3,026

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成26年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	7,094	7,789	694	109.8%
理化学機器	1,061	985	△76	92.8%
受託	939	945	6	100.7%
その他ファイナ	248	222	△25	89.8%
バイオ産業支援計	9,343	9,942	598	106.4%
遺伝子医療	—	—	—	—
健康食品	289	385	95	132.9%
キノコ	643	643	0	100.0%
医食品バイオ計	933	1,029	95	110.2%
売上高計	10,277	10,971	694	106.8%
(営業損益)				
売上高	10,277	10,971	694	106.8%
売上原価	4,673	4,916	243	105.2%
売上総利益	5,603	6,054	451	108.1%
販売費一般管理費	5,148	5,429	280	105.4%
運送費	256	297	40	115.8%
宣伝費	69	52	△16	76.8%
促進費	497	409	△88	82.2%
研究開発費	1,407	1,402	△5	99.6%
商標使用料(宝HLD)	4	4	△0	94.6%
管理費、その他	2,862	3,213	350	112.3%
事業税(外形基準)	50	49	△1	98.0%
営業利益	454	625	170	137.6%
(営業外損益)				
営業外収益	113	104	△8	92.2%
営業外費用	74	29	△45	39.0%
経常利益	493	701	207	142.0%
(特別損益)				
特別利益	0	—	△0	—
特別損失	26	16	△9	62.9%
税金等調整前四半期純利益	467	684	217	146.5%
法人税等	244	290	45	118.7%
少数株主損益調整前四半期純利益	222	393	171	176.9%
少数株主利益	△5	△10	△5	—
四半期純利益	227	404	176	177.6%
減価償却費(有形・無形)	552	592	39	107.1%
研究開発費	1,407	1,402	△5	99.6%

セグメント別損益(営業利益)

	平成26年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	1,893	2,044	150	107.9%
遺伝子医療	△433	△435	△2	—
医食品バイオ	△188	△223	△35	—
共通	△816	△759	57	—
計	454	625	170	137.6%

(注) 平成26年3月期第2四半期連結累計期間実績の売上高およびセグメント別損益(営業利益)は、平成26年4月1日付の組織改正に従って組み替えて表示しております。

(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成26年3月期 通期実績	平成27年3月期 通期前回予想	平成27年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
(売上高)							
研究用試薬	15,761	16,693	17,044	1,283	108.1%	351	102.1%
理化学機器	2,686	2,678	2,352	△333	87.6%	△325	87.8%
受託	2,689	3,017	2,943	253	109.4%	△74	97.5%
その他ファイブ	525	363	410	△114	78.2%	47	113.1%
バイオ産業支援計	21,663	22,752	22,752	1,089	105.0%	0	100.0%
遺伝子医療	—	—	—	—	—	—	—
健康食品	672	730	809	137	120.4%	79	110.8%
キノコ	1,570	1,717	1,637	67	104.3%	△79	95.4%
医食品バイオ計	2,242	2,447	2,447	205	109.1%	0	100.0%
売上高計	23,905	25,200	25,200	1,294	105.4%	0	100.0%
(営業損益)							
売上高	23,905	25,200	25,200	1,294	105.4%	0	100.0%
売上原価	11,331	11,738	11,612	280	102.5%	△126	98.9%
売上総利益	12,574	13,461	13,588	1,013	108.1%	126	100.9%
販売費一般管理費	10,619	11,461	11,587	967	109.1%	125	101.1%
運送費	537	549	606	69	113.0%	57	110.4%
宣伝費	121	133	117	△3	96.7%	△16	88.0%
促進費	985	890	855	△129	86.8%	△35	96.0%
研究開発費	3,026	3,646	3,511	485	116.0%	△134	96.3%
商標使用料(宝HLD)	9	9	9	△0	99.6%	0	100.0%
管理費、その他	5,832	6,124	6,378	546	109.4%	254	104.2%
事業税(外形基準)	107	107	107	0	99.7%	0	100.0%
営業利益	1,954	2,000	2,000	46	102.4%	0	100.0%
(営業外損益)							
営業外収益	372	308	421	48	113.1%	112	136.6%
営業外費用	86	58	42	△44	48.5%	△16	72.0%
経常利益	2,240	2,250	2,380	139	106.2%	129	105.8%
(特別損益)							
特別利益	0	—	—	0	—	—	—
特別損失	55	45	49	△5	89.4%	3	107.7%
税金等調整前当期純利益	2,185	2,204	2,330	145	106.6%	126	105.7%
法人税等	726	711	846	120	116.6%	135	119.0%
少数株主損益調整前当期純利益	1,458	1,493	1,483	24	101.7%	△9	99.4%
少数株主利益	△11	12	3	14	—	△9	26.1%
当期純利益	1,470	1,480	1,480	10	100.7%	0	100.0%
減価償却費(有形・無形)	1,157	1,325	1,351	194	116.8%	26	102.0%
研究開発費	3,026	3,646	3,511	485	116.0%	△134	96.3%

セグメント別損益(営業利益)

	平成26年3月期 通期実績	平成27年3月期 通期前回予想	平成27年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
バイオ産業支援	4,770	5,140	4,945	174	103.7%	△195	96.2%
遺伝子医療	△913	△1,434	△1,271	△357	—	163	—
医食品バイオ	△285	△168	△158	127	—	10	—
共通	△1,617	△1,536	△1,514	102	—	22	—
計	1,954	2,000	2,000	46	102.4%	0	100.0%

(注) 平成26年3月期通期実績の売上高およびセグメント別損益(営業利益)は、平成26年4月1日付の組織改正に従って組み替えて表示しております。